

私の読んだ文学作品

小室 高志

世界のすべての文学作品は、私達読者みんなの共有財産です。優れた文学作品は、時代や場所、人種や性別をこえて、私達を新しい未知の世界へ導いてくれます。私達の幼く、狭く、貧しい個人的な人生体験をより高い次元で豊かなものにしてくれるのが、古典と呼ばれる偉大な文学作品です。しかし、文学作品は向こうから私達を尋ねてはくれません。私達の方から出かけて行ってその門をたたかなければならないのです。ですから自ら文学作品に触れなければ、未知の世界をのぞくことはできません。

私が中学生の時、まったく未知の世界をのぞきこみ感銘した文学作品にヘルマン・ヘッセの「車輪の下」があります。そのあらすじを紹介します。

ラテン語きっての秀才ハンス・ギーベンラートは町の誇りでした。朝から晩まで遊びを返上しての激しい受験勉強の結果、州の試験に2番で合格、神学校に学ぶ栄誉を与えられました。神学校でもハンスは教師に将来を期待されるまじめで優秀な模範少年でした。ここで彼はヘルマン・ハイルナーという少年と知り合い、初めて幸福感を味わうこととなります。ヘルマンは気まぐれで荒々しく感傷的で反抗的な態度さえ見せる少年でした。この模範人物と注意人物との交友は、人々の好奇心を集めながら続けられましたが、そのうちにハンスは学業への興味を失いはじめ、教師の忠告もむなしく成績は次第に下がっていきます。とうとうふたりの交友は禁じられますが、依然として交際は続きます。ついにヘルマンは自由を求めて学校から脱出します。ハンスはますます成績が下がり、教師たちは彼に非難をあげられるようになります。やがて神経衰弱になり故郷の町へ帰ることになります。父親をはじめ彼の英才に期待していた人々は、その期待を裏切られたことに失望します。しかし、ハンスは久しぶりで故郷の森や町を歩きまわり、次第に自分を回復していきます。そのころエンマという娘と知り合いになります。だが彼女はハンスの心を燃え立たせただけで遠くに去ってしまいます。まもなくハンスはかじやの弟子になり労働の喜びを知っていきます。ある日曜日、仲間に誘われてピクニックに出かけたハンスは、その日、職人の世界の愉快で陽気な1日を思う存分楽しみ、ひとりで歩けないほどの酒を飲みました。ハンスはその夕方から帰りませんでした。翌日、彼は死体となって川の中で発見されました。家のベッドに寝かされたハンスは、口をやや開き、ほがらかにさえ見えました。

豊かな天分と才能を持った少年ハンスは、おとなたちの虚栄心と、国家的要請によって規格的人物の育成を図る教育制度という車輪によって、その創造的天分を踏みにじられてしまいました。「車輪の下」は、ひとりの少年を踏みにじった学校と社会という大きな車輪に対する社会批判の書であったということを、私は後に成長してから分かりました。そして今は、子供たちの創造的天分を大切にしています。

(こむろ たかし/明野中学校長)

10月の予定

●おはなし会 午後3時から 児童室にて

10/9(日)

『たこやきかぞく』 / 『きたきつねのゆめ』

10/16(日)

『ちびゴリラのちびちび』

『よしおくんがぎゅうにゆうをこぼしてしまったおはなし』



●おてだま人形創作講座

簡単でかわいい人形を作ってみませんか？



日時：10月23日(日) 午後1時～4時頃まで

場所：明野図書館視聴覚室

費用：材料費として300円(当日納入)

準備するもの：はさみ・縫い針・木綿糸(白)

申し込み：10月16日(日)までに明野図書館へ

※小学生から大人まで20名程度

●しもだて美術館所蔵「森田茂デッサン展」

力強い筆致の重厚な画風が特徴のデッサン画を約20点展示します。

期間：11月1日(火)～11月10日(木) 午前10時～午後6時

※ただし、休館日(7日)は除く

場所：明野図書館視聴覚室

図書館カレンダー

10月 OCT						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

【開館時間】
午前10時から
午後6時まで

■は休みです。

11月 NOV						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

11/16～30は蔵書点検のため休館いたします